きたひろしま 議会だより

vol.21
2010・8・1

第２回定例議会〈会期：６月16日～６月23日〉

平成22年度6月補正予算 …… P2～3
一般質問 15議員が町政を問う …… P3～10
委員会審査報告 …… P11～12
7月豪雨災害
頑張ってます! 千代田中学校 …… P13
傍聴記・あとがき …… P14

発行／北広島町議会　編集／議会広報特別委員会
〒731-1533 広島県山県郡北広島町有田1234番地　TEL(0826)72-2111　FAX(0826)72-5242　ホームページアドレス http://www.town.kitahiroshima.lg.jp/

平成22年度6月補正予算の概要及び主要施策

6月補正予算（一般会計）
『2億3,600万円』を計上

6月補正予算の編成にあたっては、当初予算編成後、厳しい財政状況を踏まえながら、新たに緊急性かつ必要性の認められる事業を実施するため、一般会計では2億3,600万円の補正予算を編成する。

≪6月補正予算編成上のポイント≫

- 西中国山地国定公園の新たな観光拠点・登山者等の集客を目指す雲月山登山道の整備
- 親と子と地域とのふれあいの場づくり・子育て応援情報の発信
- 町内小学校校庭の芝生化への支援・小学生の運動能力・体力の向上
- 野菜・特産品の安定的出荷及び販路拡大など、きたひろしまバザール推進策の研究
- 町道新設・かんがい排水・農道整備・ため池改修など、安全で快適な生活環境づくりに1億165万円を計上

6月補正予算の規模等

1　歳入歳出規模

（単位：万円・％）

区分		当初予算額 A	4月補正額 B	6月補正額 C	累計額 D (A+B+C)	対当初予算比 D/A
一般会計		1,417,000	39,600	**23,600**	1,480,200	104.5
特別会計	国民健康保険	215,800	—	**▲370**	215,430	99.8
	老人保健	73	—	**926**	999	1,368.5
	下水道事業	79,400	—	—	79,400	100.0
	農業集落排水事業	38,200	—	—	38,200	100.0
	介護保険	232,800	—	**2,270**	235,070	101.0
	簡易水道事業	30,200	—	**300**	30,500	101.0
	電気事業	4,900	—	—	4,900	100.0
	住宅団地等開発	1,300	—	—	1,300	100.0
	芸北財産区	2,400	—	**20**	2,420	100.8
	診療所	17,680	—	**0**	17,680	100.0
	情報基盤整備事業	34,100	39,639	—	73,739	216.2
	後期高齢者医療	30,000	—	—	30,000	100.0

2　繰越明許費（確定）154,171万円

- 一般会計　136,990 万円
- 特別会計　17,181 万円

特殊救急車輌 財産の取得について

●反対討論

美濃 孝二

この災害対応特殊救急自動車・高度救命処置用機材の入札だが、16社中、13社辞退、2社欠席という異常な中で、1社が1回目で落札した。

資格が必要なことがあとでわかったため、1社以外は資格がなく辞退したとのことだが、3千600万円を越える高額で落札率は98・3%だった。1社で競争入札を行うのは異常であり、これでは見積りも取らず、随意契約したのと同じであり、町民は納得しない。公正、公平な入札のため、町外業者も含めてやり直すべき。

…賛成13 反対6 **可決**

町政を問う

どうなる？私たちの町づくり

一般質問

産業

問 戸別所得補償対策の加入状況は

答 有資格農家の全戸加入を目指す

中村 勝義

問 戸別所得補償制度が本格的に動き出した。担い手がいてこその農地であり、農業で生活できる仕組みがないと後継者は育たず若者は出て行く。この制度に加えて、別途の担い手対策を講じる事が必要である。このモデル対策の申請受付は、4月1日より6月30日となっている。対象農家数と加入申請件数は。

答 加入申請明細は次の表のとおり。

取り組みの状況（6月15日）

	芸北	大朝	千代田	豊平	合計
水稲作付計画面積(ha)	417.1	382.8	773.6	483.5	2,057.0
対象農家数(戸)	489	320	988	697	2,494
対象水田面積(ha)	375.3	361.9	677.2	410.4	1,824.8
所得補償試算額(千円)	56,295	54,285	101,580	61,560	273,720
加入農家数(戸)	415	305	805	484	2,009
加入率(%)	85	95	81	69	81

差し押え物品のインターネット公売の成果は

問 町税滞納者から差し押さえた物品を、インターネット公売サイトに出品されている。ネット公売の成果と今後の課題を問う。

答 出品した販売物件が全国の人の目に触れる事が出来、せり売り方式であり、より高値での落札が期待できる。今後は、より高く売れる物件を差し押さえていくことが大切である。

行政

問 悪質セールス、勧誘お断り！

答 ステッカー等考える

梅尾 泰文

問 千代田地域を回ってみれば、玄関ドアに「悪質セールスお断り！」、「勇気を出してはっきり言おう いりません」のステッカー（暴力追放協議会、防犯組合配布）が、変質しながらもがんばって貼られている。以前から被害はあったが、最近はやり口が巧妙になり、「俺おれ詐欺」、「成りすまし詐欺」や警察官を名のって「交通事故の示談金」として口座に振り込ませたりしている。

当町の被害状況と対処はどうか。またステッカー等の配布は考えられるか。

答 「振り込め詐欺」事件は、1昨年4件、それ以降なし（山県警察署）。被害防止のため防犯教室、警察からの情報などを、区長文書やきたひろネットで啓発に努める。ステッカーは関係課と協議する。

消費生活相談49回中54件（健康食品、寝具）、法律相談5回中12件（相続、多重債務、土地建物）、暮らしの相談所35回中56件。クーリングオフの期限を過ぎたものもあったが、専門員の仲裁により5件契約解除できた。

※クーリングオフ→訪問販売などで購入契約した場合、一定期間内であれば契約解除ができる。

教育

問 無形民俗文化財の保存と活用は

答 文化財の継承に側面から積極的に努める

大下 正則

問 花田植、神楽、花笠踊り等は文化財の保護と伝承のため、住民の連帯により地域の活性化につながっている。特に神楽は、若者が神楽を舞いたいの思いで地元に就職し頑張っている。地元からの流出を止めるのも大切なことだと思う。町の「長期総合計画」には「無形民俗文化財の保存と活用」と計画されているが、戦政的な助成、興行の世話、PR用のパンフレット作りなどに行政からの支援はない。文化財の保存と活用はいかに計画されているのか問う。

答 文化財の継承は後継者も無く、経済的にも苦しいことは承知している。国、民間団体等の経済的な支援を受けられるよう情報の提供をする。後継者の育成は急務だと思う。学習指導要領改定で伝統や文化に関する教育の充実が柱となっていて、文化財の位置づけは重要となっている。教育現場と連携をとって、子どもたちに文化財の後継者育成を図っていく。

町外PRのため、ホームページの活用、パンフレット等で広報活動を積極的に進める。

本地 花笠おどり

一般質問

教育

問 義務教育の取り組みは

答 基礎教育と安全管理に努力していく

箕牧 智之

問 最近は少子化で公立小中学校の中で抱えている諸問題が見えにくい。校則や携帯電話等の是非についての議論もあるのでは。

また無断で校内に進入して、悲惨な児童や教師殺傷事件も発生している。危機管理の在り方についての研修はされているのか問う。

答 子供たちが目標や夢をもって個性や才能をしっかりと伸ばす事は大切で基礎基本の学力の定着を第一に、いろいろな学校行事を通して各種大会、コンクールに積極的に参加して競う人づくりも大切と考えている。

子供たちが楽しく学べる学校にするため、不審者の侵入等の事件対応は、子供の安全確保を第一にマニュアルをもとにそれぞれの学校独自で訓練や防犯教室等で意識の高揚を図っているところである。

町内 5・6年生記録会の開会行事

産業

問 本町の口蹄疫予防対策と千代田中学校の給食開始について

答 予防対策と千代田中学校給食開始の事前計画

室坂 光治

問 (一)宮崎県から発症した口蹄疫は鹿児島県へも広がりを見せ九州はもとより全国で不安の声が上がっている。今のところ北広島町には出ていないが町内の経営者も不安を抱いている。感染防止のため農協・酪農関係者の方で消石灰の散布を各自でされたと聞いているが終息していない。予防対策として①経済的支援②安全な取り組み③保険共済について聞く。

(二)千代田中学校の学校給食開始に向け調理員の増員と賃金の取り扱い、運搬車の運転、地産地消の取り組み、米飯給食、食中毒予防、食物アレルギー生徒への対応について聞く。

答 (一)現時点では飼育農家への予防体制の強化を促し消石灰を1農家あたり1袋配布している。追加で消石灰が必要な場合は町の負担で口蹄疫発生が終息するまで継続配布を手配している。安全対策については文書による情報提供という形で対応。保険、共済関係については感染した家畜への保償制度により国と家畜共済の保険金より補てんされることとなる。

(二)千代田中学校給食開始に伴い2名の増員で1日8時間勤務、時給8百円となる。シルバー人材センターの運搬、米飯給食と地産地消の推進をし各学校の調理場でアレルギーの個別対応を考えている。

福祉

問 子宮頸がん予防ワクチン接種に補助金を

答 国の方針や他自治体の動向を見て慎重に検討する

大林 正行

問 子宮頸がんは、20代から30代の女性に発症するすべてのがんの中で第一位である。

がんは予防する事が出来ないといわれているが、子宮頸がんは唯一予防できるがんである。日本産婦人科学会や日本小児科学会では、子宮頸がん予防ワクチンを11歳から14歳の女児に接種することを推奨している。しかし、予防接種法に基づく定期接種に指定されていないため、費用は個人負担で1人当たり約5万円かかる。このため接種が進んでいないのが実状である。先進国では全額補助の国が多く、国内でも自治体補助による女児への集団接種を実施している市町がある。町には町民の命と健康を守る義務がある。母体を守り少子化に歯止めをかけるため、子宮頸がん予防ワクチン接種費用に補助が必要と考えるが、町の考えは。

答 本町では、平成17年に3名の女性が子宮頸がんを発病している。子宮頸がん予防ワクチンは、予防接種法の定期接種に位置づけられていないため、町としては今後国の方針や他自治体の動向をみて慎重に検討する。現状では、女性特有がん検診の無料クーポン券制度を活用して、早期受診、早期治療を働きかけていく。

教育

問 卒業式入学式の国旗国歌の取扱いと成果を問う

答 是正指導のさらなる浸透を図る

真倉 和之

県教育委員会は平成10年5月20日付で旧文部省より教育内容7項目の是正指導を受けた。その是正と改善の指導は、北広島町の卒業式入学式における国旗国歌の取り扱い等学習指導要領に則り適正に実施されているか2点について問う。

問 北広島町の学校で卒業式入学式に教職員は児童生徒に国旗国歌を尊重する態度を指導し、自ら範を示す行為を行っているか。

答 児童生徒が将来国際社会で尊敬され信頼され、日本人として成長していくには、我が国の国旗国歌の意義を理解し尊重する態度を育てることが大切である。この方針に従い学習指導要領に則り、全教職員が自ら範を示すのは当然の行為と考えている。

問 校長が卒業式入学式で国歌斉唱に起立するよう教職員に命じた時、教職員は当該行為をなすべき職務上の責務を負うものと判断するが、北広島町の学校で卒業式に国歌斉唱時に起立しない職員がいたが、これは校長の職務命令に反する行為で教育長はどう対処されたのか。

答 平成21年度の卒業式において、校長の職務命令に反し国歌斉唱時に不起立であった職員に対し、地方公務員法第三二条及び第三三条の規定に反するとして懲戒処分をおこなった。

一般質問

行政

問 地域づくりのための情報提供周知徹底を

答 国・県・町事業を分かりやすく整理し、広報に努める

中田 節雄

本町行政改革大綱でも、地域協働の推進についてまとめられており、3月定例会では、地域活動の支援事業整理表が提示された。

この事業が町民に周知徹底され、理解されれば、活動を通じて地域の連帯、地域づくりの気運が醸成されてくるものと考える。

問 町の事業ばかりでなく、地域で取り組むことのできる県事業も含めて整理し、町民に周知してはどうか。

答 地域課題の解決や活性化の仕組みづくり、活動を支援する事業について、国・県事業を含めて分かりやすいことを第1にして整理したものを作成し、区長会等各種会議で配布。また、町公報やきたひろネットを通して広報に努める。

問 支援事業整理表の中に、防犯灯設置補助金があるが、現在、中国電力の電柱に取り付けてある電球の取り替えについて、本年度末をもって、中国電力の取り替え費用のサービスが中止される。今後指定業者に委託すると、5～6千円の地元負担が必要となる。今後の町の対応を伺う。

答 地域の負担を軽減するため、LED化を進めている。LED化するための取り付け費用は必要だが、電気料は10分の2となる。そしてLED球の寿命は約10年と言われている。

行政

問 どう活かす「きたひろネット」全町放送

答 各種産業の振興も含め有効活用する

宮本 裕之

問 7月から全町放送開始となる「きたひろネット」は都市部と山間地域の情報格差をなくすもので、さらなる定住促進、企業誘致、各種産業の振興発展につながるものと期待する。行政として農林商工業に対しどのような振興対策を活かしていくのか、また80%を越える加入率ではあるが、全世帯加入に向けた取り組みを聞く。さらには、収入確保にコマーシャル導入の考えはないか。

答 農林商工業の活用対策として、映像を通して町民に分かりやすく気象や病害虫の発生や防除、農作物の栽培のポイント等を知らせていく。また、北広島バザールへの売れ筋情報の提供、農業研修会や支援事業などを念頭に置き、関係機関と連携していく。

コマーシャル放送は安定的な収入確保に向け導入していく。加入率100%になるよう今後も努力していく。

一般質問

福祉

問 障害者問題についての取り組みは

答 本町の「障害者福祉計画」を基本目標として推進する

日山 静樹

問 行政職員、教職員また町民に対しての教育・啓発が必要と考えるが。

答 職員には「行政と人権」についての研修を重ね人権意識の啓発を進めている。教職員は児童生徒にも重要な課題でもあり「特別支援教育ビジョン」を基に学校全職員で取り組んでいる。町民には問題解決に向けての教育、啓発を町広報、きたひろネット、福祉まつり等で情報を発信し理解と認識を深めてゆく。

問 小規模作業所「びいぱぶ」について。障害者の就労を通じた心身機能の発達の場を保証するために、当事者やその関係者等の活動によって設立されたものであるが、最大の課題は運営基盤の弱さと財源や職員の身分保障などが十分でない。また、障害者に配慮した働き易い環境の整備が必要と考えるが町としての支援は。

答 町にとっても利用者にとっても重要な役割を果たしている。通所されている方の作業収入の場であり憩いの場でも自立する場でもある。運営へのかかわりは財政的支援も考え、関係者とよく相談し可能な限りの支援をする。現状は社会参加を目指す場としては建物も古く手狭である。家族の日常的ご苦労を緩和するためにも、将来を見据え総合的な作業所として整備するようこれから調査検討を進めてゆく。

行政

問 きたひろネット4億円 町民負担断固回避を

答 業者責任・賠償を求め法的措置も

亀岡 章治

問 地域情報基盤整備推進交付金申請要件の工期完了平成21年度末契約は計画的に無理があったのではないか。

答 この事業は、20年度から繰り越した事業で受注業者NECネッツエスアイ㈱もよく認識していたと思っている。

問 契約上無理がなかったとすれば、工事完了が間に合わなかった要因はなにか。

答 工事完了の遅れは、受注業者の工事執行体制が極めて不十分であった為だと思う。

問 工期内完了上最も重要な工程会議が当初月一回は極めて問題だ、進捗状況が把握されていれば、財源不足も2億円～1億円にできたかもしれない。契約に対する責任と危機意識が両者に欠如していたのではないか、責任を問う。

答 契約内容については、入札時よく説明しており、解っていたと思う。危機意識が欠如していたとすれば、その事自体が受注業者の責任と云わざるを得ない。

問 事業も完了する。財政不足4億円は町民の負担なく財調基金の回復を図るべきだ。

答 町民に心配をかけた事を心からお詫びする。4億円は業者の責任。賠償を求め法的措置も検討する。またきたひろ利用料への転嫁等、町として全く考えていない。

一般質問

産業

問 第3者に経営のバトンと支援策は

答 支援事業が出来るよう検討する

濱田 芳晴

問 3月一般質問の答えに、親権でない第三者の若者が経営を引き継ぐ担い手確保のテーマに取り組むとあり、研修生募集パンフレットを作成して、これを見た山口の青年が応募に来ている。芸北に遊休ハウスがありこれの紹介を考えている。世羅町、全農、神石高原町などが考えておられる。この調査と本町でも支援策が考えられないか。又、支援の中に若者向けの安い住宅が必要である。豊平水井手の遊休地利用で民活による公募などを計画してみては。

答 世羅町農業後継者確保事業とは、22年～26年の事業で1年10人、3年間で50人法人が雇用5年間 月15万円給与助成5年間助成を受けたら5年間は雇用を継続する必要。全農の支援は農業研修生を受け入れた農家に研修費用を年12万円助成する。

本町も農業基本計画見なおしの年でもあり農業後継者の育成は必要と考える。世羅町や他の事業を研究し、支援事業が出来る様、検討する。本町豊平エリアには志路原に住宅用地があり、民活で公募も視野に入れて検討する。

行政

問 きたひろネット4億円の損害は取り戻せるのか

答 まだ業者と本格的協議はしていない

美濃 孝二

問 契約では工期が遅れた場合の損害賠償は3ヵ月で約1000万円にしかならない。4億円全額を業者から取り戻すというならその根拠を示せ。

答 遅れの原因について、業者と本格的な協議のやり取りをしていない。工事の見通しがついた段階で手をつける。法的主張もふまえて整理しているところであり、逐一申し上げることはできない。

問 法的手続きはどこまで行っているのか。

答 まだ行う段階にいたっていない。

問 何もしていないのと同じではないか。町長の責任は重大、私財を投げ打ってでも町の財産を守る覚悟はあるか。

答 ・・・・・・。

見通しのない企業のための壬生浄水場増設（2億円）は中止せよ

問 千代田工業流通団地への企業誘致のための上水の確保が目的だが、企業が来る見通しは立ったのか。

答 未だ決定していない。

問 企業が来る見通しはなく、水源の認可もとっていないのに、施設だけ作れば巨額なムダになる。増設より漏水対策、老朽管の交換などを急ぐべき。

答 水もある、道路も使えるなど、相手側の信頼なくして企業誘致はない。

	予定額	3月末まで完了分	未完了による減額分
国の交付金	3億4211万円	2億1001万円	1億3210万円
町の借金	6億8420万円	4億2000万円	2億6420万円
一般財源	2万円	3万円	1万円
事業費（計）	10億2633万円	6億3004万円	3億9629万円

※1万円未満を四捨五入

町の貯金で穴埋め

行政

問 繰越事業は22年度に消化しきれるか

答 秋までには事業発注を完了する

伊藤 久幸

問 平成20年・21年度、国の緊急経済対策、地域活性化きめ細かな交付金等の事業により景気回復にてこいれされその多くの事業が本年度に繰越しとなった。はたして消化しきれるのか。対応策、総繰越事業費、総件数は。

答 事業概要は、総事業費10億3千970万円、総件数283件、進捗状況6月末48件、町道農林道維持修繕関係は未完了、嘱託職員を3名増員、本町支所間の協力体制を整備し早急に発注・完成に鋭意取り組む。秋までにはすべて事業発注を完了する予定である。

問 事業計画から発注まで時間がかかりすぎる。どういった過程を踏んで入札に至るのか。繰越しにより交付金カットはないか。

答 国の交付金はカットされない。

外部委託で現地測量、設計積算をコンサルタントへ依頼、近い現場は3、4ヶ所を集中し1つの設計書に包含し出している。

問 残土処分地の選定と大朝運動公園の活用策は、処分地不足の解決策として行政指導による処分地選定は考えられないか、跡地利用による大朝運動公園の活用策内容は。

答 適地の選定に民間と共同で検討する。

バックネット等を設置、少年野球など運動公園としての機能の充実をはかる。

産業

問 農業後継者の確保と育成に新事業の取り組みを

答 農業を取り巻く最も大きな課題、検討したい

田村 忠紘

問 農業後継者不足は、深刻な課題である。

「若者が魅力を持てる農業」を標榜して推進している集落法人の結成は、徐々にではあるが結実しつつある。

しかし、色んな事情で法人化に踏み切れない営農集落が圧倒的に多い。

法人化を躊躇している大きな事情の1つに、後継者がいないことがある。

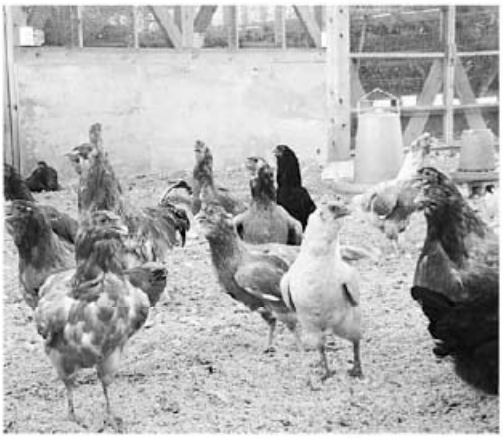
世羅町では、本年度からUターン就農者を雇用する集落法人を支援するため、1か月に一人あたり15万円を限度とし、最大5年間支援、10年間で50人の確保を目指している。

将来に向けて、より強固な営農基盤を築けるよう応援する施策として、本町でも検討してはどうか。

答 現在、町内の集落法人は27団体ある。若い後継者を常時雇用しているのは1団体のみである。

21年度決算で1法人あたり年間売上高の平均は2千380万円であり、平均の人件費は、460万円である。

水稲中心の営農のあり方を含め、若い後継者を継続的に雇用していく法人に対して、世羅町の事例を参考にしながら支援を検討していきたい。



委員会審査報告

産業建設常任委員会

現地視察研修

◎本地トマト水耕栽培施設
◎川井益水興産トマト生産
◎川戸トマト生産団地

共に専業農家としての道を強く歩んでおられ頼もしさを感じました。

総務常任委員会

現地視察研修

◎北ホテル工事中
（8月1日オープン）
◎ブリヂストン企業工事中
◎大朝工業団地工事中
◎大朝住宅団地

町内の進出企業を視察し、今後の稼動に期待する。

文教厚生常任委員会

現地視察研修

◎県立千代田高校

廃校を心配しての視察。
地元の入学生が多くなり卒業生も３分の１は地元に就職。

◎町立千代田中学校

生徒達の挨拶も出来ておりクラブ活動も体育館で熱心に取り組んでいた。

◎宮島学園

小中一貫教育で生徒数は１０４名。３年目を迎え充実した学校経営は目を見はるものがあった。

委員会審査報告

文教厚生常任委員会

▼要望第４号▲

Ｃ型肝炎などの正しい知識の普及、啓発、診療体制整備及び治療費助成などについて

↓採択

※平成20年第１回定例会において同様の要望があり「採択」しており、その後に制度等も若干は改善されているが、要望事項は妥当と思うので採択とした。

平成22年7月 梅雨前線豪雨災害

7月11日から7月15日にかけて中国地方を襲った集中豪雨は本町にも多大な爪跡を残しました。被災されました方々に心からお見舞い申し上げますとともに、早期復旧に向けて全力で取り組んで参ります。

■被災額調書

公共土木災害（市町工事） 単位「千円」

種別	箇所数	被災金額
道路災害	41箇所	95,700
河川災害	115箇所	365,400
計	156箇所	461,100

農林土木災害（市町工事） 単位「千円」

種別	箇所数	被災金額
農林災害	40箇所	36,646
施設災害	39箇所	35,542
小災害	52箇所	13,866
小規模崩壊	10箇所	38,000
計	141箇所	124,054

被災総額（市町工事）

農林土木災害	141箇所	￥124,054,000－
公共土木災害	156箇所	￥461,100,000－
合計	297箇所	￥585,154,000－

公共土木災害（県工事） 単位「千円」

種別	箇所数	被災金額
道路災害	5箇所	16,400
河川災害	38箇所	155,600
計	43箇所	172,000

頑張っています

北広島町立 千代田中学校

本年度の千代田中学校は、全7クラス、生徒数212名、教職員総数25名で元気にがんばっています。いろいろご心配いただいていた本校の問題行動等も今ではほとんどなく、生徒達は落ち着いて楽しい学校生活を送っています。おかげで今年の4月には「新入生歓迎遠足」として宮島に貝掘りに行くこともできました。

また、生徒達は大好きな千代田のために「地域に恩返しするボランティア活動」に熱心に取組んでいます。その代表的なものが「千代田中太鼓」「千代田中ソーラン隊」「エコキャップ運動」です。さまざまな地域のお祭りなどに出演させていただいています。また「ちよだ夏まつり」ではまつりの準備にも多くの生徒がボランティアで参加します。

部活動でも多くの部が県大会へ出場していますし、学習面でも落ち着いて安心できる学校や学級が実現したために、授業にも真剣に取組み、学力も飛躍的に向上してきています。

学校行事では「千代田中三大行事」の「体育祭」「合唱祭」「文化祭」があり、生徒達は燃えに燃えてがんばります。すでに「体育祭」「合唱祭」が1学期で終わりました。いずれも感動的で大成功でした。

今年も千代田中はがんばっています！

議会傍聴記

豊平西小学校三・四年生

今回は、豊平西小学校三・四年生が社会科授業の一環として傍聴に参加されました。その時の感想文の中から選定し掲載いたします。

☆議会を見ていろんな人が一生懸命話し合いをして、いろんなことを決めているんだなと思いました。

☆大人の人がいっぱい集まって、会議をして子どものことなどを話すこともしているんだなと思いました。

☆私たちのためになることをしてくださっているんだなと思いました。お忙しいところありがとうございました。とても勉強になりました。これからもがんばって下さい。

☆議場でとっても重要な話をされているということがわかりました。

☆議会では「きたひろネット」の話をされていました。「きたひろネット」はぼくの家にもあるので大事だと思いました。

☆議会の人たちは北広島町を幸せにするために話し合いをしているんだなあと思いました。がんばってほしいです。

質問箱

議会に対する町民の声を議会だよりで紹介させていただくことにしました。

内容は自由で、400～600字ぐらいで、書面・ＦＡＸ・メールで送ってください。

紙面紹介は匿名としますが、内容確認のため連絡先はご記入下さい。

【送り先】議会事務局

FAX 0826－72－5242

Eメール gikaijimu@town.kitahiroshima.lg.jp

議員による寄付行為の禁止!!

贈らない！求めない！受け取らない！

○議員は、公職選挙法により選挙区内の人にお金や物を贈ることは禁止されています。
（たとえば町内のお祭、会合、スポーツ大会、親睦旅行などへの寄附や、お祝い、飲食物の差し入れなど。）

○また有権者が寄附を求めることも禁止されています。

○違反して処罰されると公民権停止の対象になります。

表紙の解説〈新庄夜市〉

行きかう人･人･人……

7月10日夜、毎年恒例の新庄夜市が梅雨の合間をぬって新庄学園通りで盛大に開催されました。

所狭しと並ぶ屋台に、ステージでは神楽や踊りなど大盛会の一夜でした。

編集後記

初のアフリカ大陸開催のワールドカップは、鮮やかなパスサッカーのスペインが初優勝し、世界を沸かしたイベントが終了した。日本は自国開催以外のW杯で初の決勝トーナメント進出を遂げ、一回戦で惜しくも負けはしたが将来的には明るい展望が開けた。

町内では、7月5日に16小学校の5・6年生344人が集い、「走る・投げる・飛ぶ」記録会が晴天の下に開催され、元気な姿が千代田多目的グランドで躍動した。

秋には第5回町民運動会が豊平にて開催されるが、スポーツの種類は違ってもお互いが精一杯頑張る姿はすばらしいものだと感じた。

環境にやさしい再生紙を使用しています。